

やまなしの福祉

No.330
2016
7月号



特集 P2

新ボランティア・NPOセンターオープン

- P4 生活困窮者自立支援制度スタートから1年
- P10 THE SIX SENSE開催
- P8 山梨県民生委員児童委員大会記念講演から
- P11 福祉用具紹介
- P9 社協ボランティアセンター情報コーナー

表紙写真:県ボランティア・NPOセンター開所式でテープカットをする(左から)芦澤敏久山梨県社会福祉協議会長、新井ゆたか山梨県副知事、大澤英二山梨県ボランティア協会長(甲府市の山梨県防災新館1階)関連記事p2をご覧ください

ボランティア・NPO活動の情報発信の拠点

新 ボランティア・NPO センターがオープン

今日、少子高齢化など多様化するさまざまな地域課題に対応するためには、行政だけでなく、ボランティア・NPO（非営利団体）の活動や協働は欠かせないものになっています。

こうした状況を踏まえて、山梨県社会福祉協議会、山梨県ボランティア協会が協働して、利便性の高い「やまなしプラザ」（県防災新館1階）に「山梨県ボランティア・NPOセンター」をオープンしました。県内のボランティア・NPO活動の情報発信の拠点、団体の活動支援の場としていきます。



オープンした山梨県ボランティア・NPOセンター（県防災新館1階）

ボランティア・NPOセンターの気軽な利用を

5月10日に開所式が行われ、県社協の芦澤敏久会長は「新たに築くという発想でチャレンジしていきたい」と、あいさつしました。また、県



あいさつをする県社協の芦澤敏久会長（左）と
県ボランティア協会の大澤英二会長（右）

ボランティア協会の大澤英二会長は「これまでのノウハウを生かし、ボランティア活動の拡大につなげたい」と意気込みを話しました。この後、芦澤会長、大澤会長、新井ゆたか山梨県副知事がテープカットをして開所しました。

ボランティア・NPOセンターは、県内のボランティア・NPO活動の情報発信の拠点、団体の活動支援の場です。ボランティア活動、NPO法人の設立や運営に関する相談をしたい方、ボランティア・NPOボードを活用したい方、各種のセミナーや体験学習などに参加されたい方など、気軽にお問い合わせください。

主な事業

ボランティア・NPO情報の集積、発信、マッチング

県域はもちろん、市町村の情報収集に力を入れるとともに、ボランティア・NPOボードや窓口、インターネットで情報を発信し、活動を始めたい方とマッチングし、県民のボランティア・NPO活動の活性化をめざします。

- ボランティア・NPO活動の相談・支援(随時)
- インターネットによる情報発信(随時)
- ボランティア・NPOボードの運営
- テレビ、新聞、ラジオなどを活用した情報発信



ボランティア・NPOの育成

青少年、社会人などが気軽に参加できる場の提供や、研修会などを開催して多くの県民がボランティア・NPOに触れる機会を設けていきます。

- ボランティアセミナー(年3回)
- ボランティア体験
 - ・街中清掃活動
 - ・スポーツボランティア体験
 - ・赤い羽根共同募金活動
 - ・学校、企業などへのボランティア体験学習における講師派遣など
- 青少年・企業ボランティア体験学習会
 - ・富士山清掃活動など
- ボランティアパンフレットの発行



団体の基盤強化、ネットワークの構築

研修、相談や活動発表の場を設け、団体活動の活性化を応援します。また、団体同士の交流や行政・企業などとも連携しながら、ネットワークを構築し連帯感のある活動をめざします。各団体の活動スペースとして、無料、または安価に利用できる公民館などを紹介します。

- ボランティアまちかどカフェ
 - ・テーマ別学習会及び情報交換(年6回)
- やまなしボランティア・NPOネットワーク交流会
- やまなしNPOフェスタ
 - ・県民の日記念行事「やまなしNPOフェスタ」の企画・運営
- NPO法人設立・運営無料相談会
- NPO専門家個別派遣支援事業
- 県内外関係機関とのネットワーク



山梨県ボランティア・NPOセンター

開館日 【火～金曜日】午前9時～午後9時
【土・日曜日】午前9時～午後5時

休館日 月曜日・祝日・年末年始

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(JR甲府駅南口から平和通りを南へ徒歩7分)

TEL 055-224-2941 FAX 055-232-4087

E-mail vol01@yva.jp

やまなしNPO情報ネット <https://www.yamanashi-nponet.jp/>



生活困窮者自立支援事業

スタートから1年

様々な理由で生活に困っている方の自立を支援するための生活困窮者自立支援制度がスタートして1年が経過しました。

この制度の実施主体は、福祉事務所を設置する自治体(市町村)であり、福祉事務所を設置していない町村は、都道府県が実施主体となります。

生活困窮者を支援するために、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、就労準備支援事業、認定就労訓練事業、一時生活支援事業、学習支援事業、家計相談支援事業などを行っています。

事業の内容

自立相談支援事業(必須事業)

あなただけの支援プランを作ります

生活に困りごとや不安を抱えている場合は、一人で抱え込まずに、まずは相談窓口(山梨県内の相談窓口はP7に掲載)にご相談ください。支援員が相談を受けて、どのようなプランが必要かを相談者と一っしょに考え、具体的な支援プランを作成して寄り添いながら、自立に向けた支援を行います。秘密厳守で相談できます。

住居確保給付金(必須事業)の受給申請補助

家賃相当額を受け取れます

離職などで住居を失った方、または失うおそれの高い方には、就職に向けた活動等を条件に、一定期間、家賃相当額を支給する制度です。

※一定の資産収入に関する要件を満たしている方が対象です。

就労準備支援事業(任意事業)

社会、就労への第一歩

「社会との関わり方に不安がある」など、すぐに就労が難しい方に6カ月から1年の間、プログラムに沿って、一般就労に向けた基礎能力を養いながら、就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。

※一定の資産収入に関する要件を満たしている方が対象です。

認定就労訓練事業(任意事業)

柔軟な働き方による就労の場を提供

作業機会を提供しながら、個別の就労支援プログラムに基づき、一般就労に向けた支援を中・長期的に実施します(「中間的就労」とも言います)。ひきこもりやうつ病などで働けない方の復帰訓練にもなります。

一時生活支援事業(任意事業)

住居のない方に衣食住を提供

住居のない方、またはネットカフェ等の不安定な住居形態にある方に、一定期間、宿泊場所や衣食住を提供します。就労支援などの自立支援も行います。

※一定の資産収入に関する要件を満たしている方が対象です。

生活困窮世帯の子どもの学習支援事業(任意事業)

子どもの明るい未来をサポート

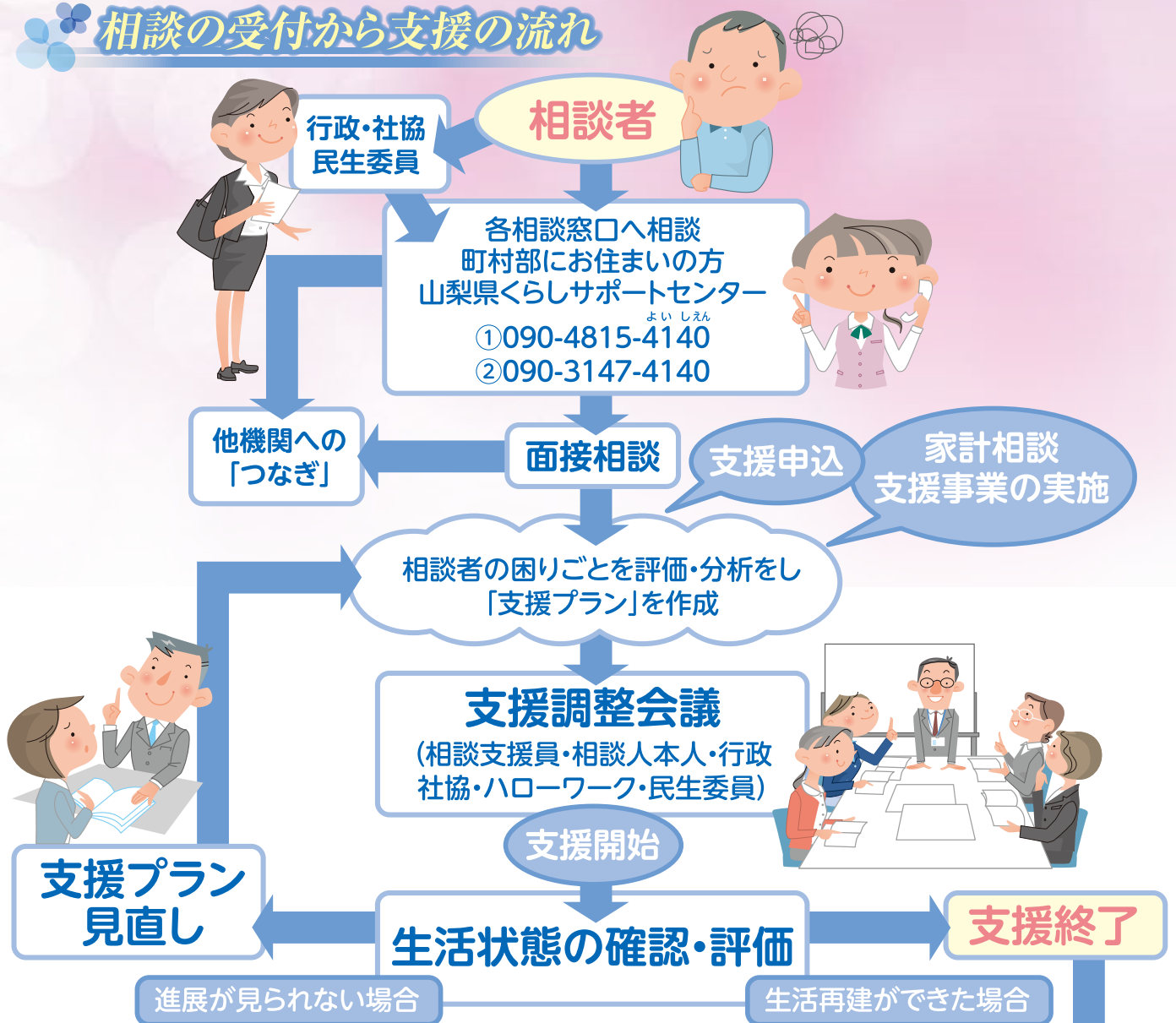
子どもの学習支援をはじめ、生活習慣、仲間と出会い、活動ができる居場所づくり、進学支援、高校進学者の中退を防止するための支援等、子どもと保護者の双方に必要な支援を行います。

山梨県内町村部は 山梨県社会福祉協議会が事業を受託

山梨県暮らしサポートセンター

山梨県では、町村部については山梨県社会福祉協議会が県から、自立相談支援事業・住居確保給付金事業を受託、平成28年度からは家計相談支援事業も行います。

相談の受付から支援の流れ



家計相談支援事業 (任意事業)

家計の立て直しをアドバイス

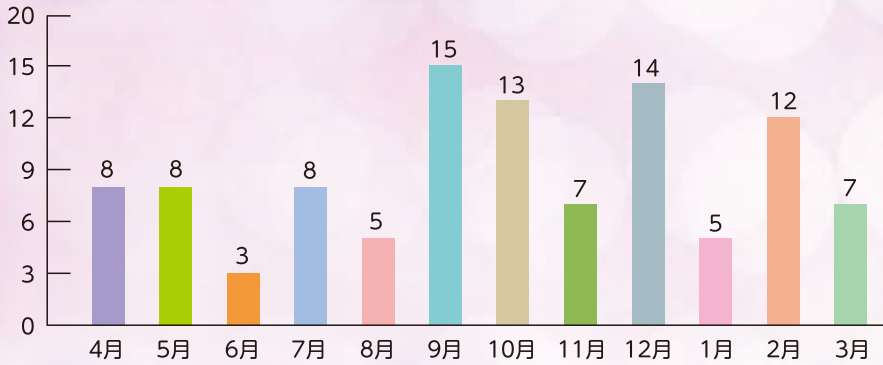
自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再建を支援します。



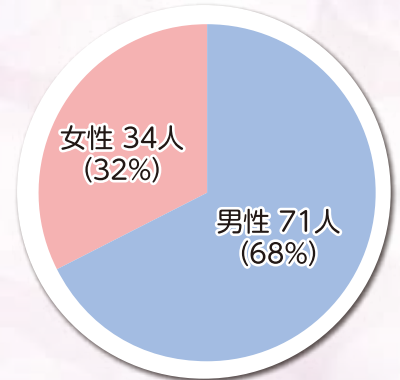
平成27年度実施状況

昨年度の新規相談件数は105件あり、その内訳は次のとおりです。

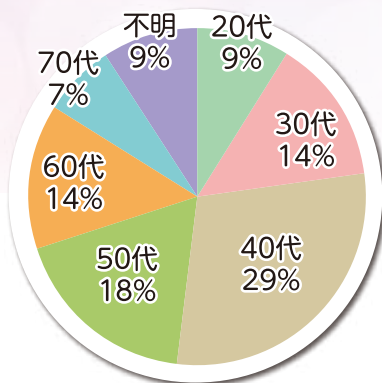
月別相談件数



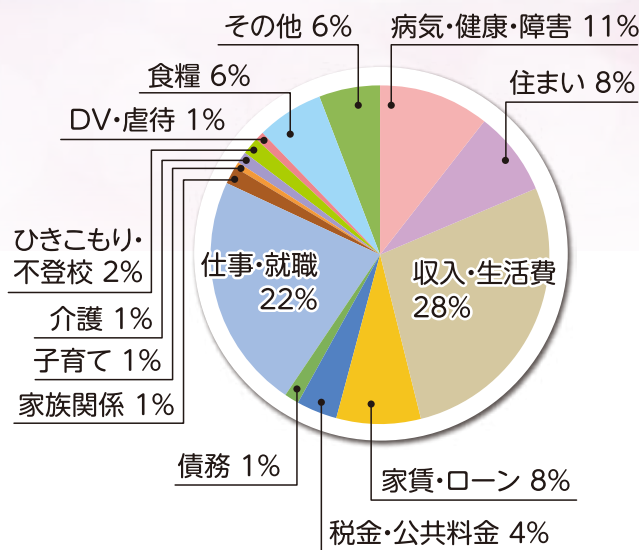
男女比



年代別



主な相談内容



※複数回答あり

病気・健康・障害	28
住まい	21
収入・生活費	73
家賃・ローン	21
税金・公共料金	10
債務	4
仕事・就職	59
家族関係	4
子育て	2
介護	3
ひきこもり・不登校	4
DV・虐待	2
食糧	17
その他	15
合計	263

関係機関の連携強化や意見交換

研修会・連絡会議の開催

峡南地域と富士・東部地域ごとに「制度普及研修会」と「関係機関連絡会議」を開催しました。制度普及研修会は、実際に制度に関わる方をはじめ、興味のある方までを広く対象に開催。

また、町村福祉担当者、町村地域包括支援センター、町村社会福祉協議会、町村民生委員・児童委員代表、ハローワーク、支援活動施設・団体、県福祉保健総務課、県保健福祉事務所といった関係機関との連携強化や、意見交換などを目的とした関係機関連絡会議を開催。

なお、同研修会と同連絡会議を今年度も開催します。



制度普及研修会の様子

ご相談はこちらへ!

生活困窮者自立支援事業 相談窓口一覧

山梨県福祉保健総務課調べ(5月現在)

自治体名	自立相談支援 事業相談窓口	任意事業				住所・電話番号
		就労準備 支援事業	一時生活 支援事業	家計相談 支援事業	子どもの学習 相談事業	
町村部	山梨県くらしサポートセンター (山梨県社会福祉協議会)			●	※	甲府市北新1-2-12 090-4815-4140 <small>よいしえん</small> 090-3147-4140
甲府市	生活支援相談窓口		●		●	甲府市丸の内1丁目18-1 055-237-5742
富士吉田市	福祉課・地域福祉担当		●			富士吉田市下吉田6丁目1-1 0555-22-1111
都留市	福祉課・地域福祉担当		●			都留市下谷2516-1 0554-46-5112
山梨市	生活相談支援センター	●	●	●	●	山梨市小原西843 0553-22-1111
大月市	生活困窮者相談窓口					大月市大月2-6-20 0554-23-8030
韮崎市	自立相談支援窓口					韮崎市水神1-3-1 0551-22-1111
南アルプス市	福祉事務所		●			南アルプス市小笠原376 055-282-7250
北杜市	福祉課		●	●		北杜市須玉町大豆生田961-1 0551-42-1334
甲斐市	甲斐市社会福祉協議会 生活困窮者相談窓口		●			甲斐市島上条3163 055-277-1122
笛吹市	生活援護課 自立相談支援窓口		●		●	笛吹市石和町市部800 055-261-1905
上野原市	上野原市社会福祉協議会 生活困窮者自立支援相談所				●	上野原市上野原3504-1 0554-63-0002
甲州市	甲州市社会福祉協議会 生活支援センターぶりっじ	●	●		●	甲州市塩山上於曾977-5 0553-32-6050
中央市	中央市社会福祉協議会 自立相談支援窓口	●	●			中央市下河東620 055-274-0294

※町村部の学習支援事業は、山梨県社会福祉協議会では実施していません。

未来へつなぐ思いやりの心

～これからも地域とともに～

山梨県民生委員児童委員大会で記念講演

山梨県民生委員児童委員協議会(戸田知会長)は5月12日、甲府市のコロナ文化ホールで山梨県民生委員児童委員大会を開催しました。大会は、3年に1度の改選期に開催し、今大会では県下の民生委員児童委員約1,500人が参加する中、戸田会長はあいさつで、民生委員制度が来年で100周年を迎えることに触れ、「100周年に向けて思いをつなぎ、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいきましょう」と呼び掛けました。

オープニングアトラクションでは、マコト愛児園(南アルプス市)と友愛保育園(甲府市)の園児による演奏発表が披露され、参加者は子供たちの演奏を大いに楽しむとともに、児童委員としての意識を強く持つことが出来ました。

式典では永年勤続委員242名や優良民生委員児童委員協議会5地区の表彰が行われるとともに、山梨県共同募金会から日頃の募金活動協力へのお礼として、4市の民生委員児童委員協議会へ感謝状が授与されました。

また、同志社大学大学院社会学研究科教授の上野谷加代子さんによる「未来へつなぐ思いやりの心～これからも地域とともに～」と題した記念講演が行われました。

以下は上野谷教授の講演要旨です。

民生委員児童委員が果たしてきた5つの役割

民生委員児童委員がこれまで果たしてきた役割は、大きく分けて5つです。

1つ目は、地域住民に寄り添った、身近な見守り・相談役という役割を果たしてきたこと。**2つ目は**、第二次世界大戦後に整備されてきた多くの社会福祉制度について、どれも民生委員児童委員が協力者として位置づけられ、23万人の民生委員児童委員によって日本の社会福祉制度が動いているという事実があります。**3つ目は**、民間社会福祉事業の中核的存在として福祉関係団体・機関をまとめてきたこと。**4つ目は**、地域のニーズや課題をモニター調査等によって可視化し、行政や社会福祉関係者に気付いてもらって政策・制度化へつなげてきたこと。**5つ目は**、時代を先取りし、困りごとを抱えて孤立する前にセーフティーネットとしての役割を果たしてきたことです。

地域生活支援で気がかりなこと

今、気がかりなことは、地下鉄でお年寄りがお腹を痛がっていても知らんぷりをするような「知らんぷり社会」です。次に「つながりの喪失」です。相手にどう対応していいかわからないような状況が起きています。「社会的孤立」も一緒です。孤立と孤独は違います。孤立は、関係性を失って、自分のことは排除されていると思い、どうSOSを出していいかわからない、助けられ下手、ということです。



同志社大学大学院
社会学研究科教授

上野谷 加代子さん

うえのや・かよこ

同志社大学大学院社会学研究科教授。大阪市立大学家政学部社会福祉学科、同大学院家政学研究科社会福祉学専攻修了。研究テーマは地域を基盤としたソーシャルワークの展開方法(論)と教育方法。

日本地域福祉学会会長、中央共同募金会「企画・推進委員会」委員長。(70周年答申にむけて)民生委員関連では平成26年4月に報告書が出された「民生委員・児童委員の活動環境の整備に関する検討会」(厚労省)で座長を務め、現在は、「民生委員制度創設100周年記念事業企画推進委員会」委員として活躍。

「あいまいな自立」も気がかりです。自立には、労働的・経済的自立、精神的・文化的自立、身体的・健康的自立、社会関係的・人間関係的自立、生活技術的・生活管理的自立、政治的・契約的自立の6つがありますが、こうした自立があいまいな状況になっています。

他の団体や専門職と協力し合って、自立の支援や知らんぷり社会などを変えるということが、民生委員児童委員の役割だと思えます。

地域福祉の推進者としてチームで課題解決

平成12年に民生委員法が一部改正されて、「地域福祉の推進者」という言葉が明記されました。「地域福祉」というのは日本独特の考え方です。地域福祉は、専門職が入りながら、地域の人たちが主体になったり、客体になったり、「お互いがお互いを」というものです。

地域福祉では、住民の福祉課題を解決しなければなりません。民生委員児童委員は、困りごとを抱えている人がどんな人であれ、接近します。自分だけでは難しいので、チームを組んで問題を解決していくことになります。

専門職と住民がそれぞれの役割をきっちり行うことは、一朝一夕にはできません。どう方法があるか一番知っているのが、近隣で支え合うことをしてきた皆さんです。これからは理念・思想を持って、先輩・後輩・同輩の民生委員児童委員の皆さんとチームでひとつずつ解決していくことが望まれます。

県内27の市町村社会福祉協議会では、それぞれの地域の特色を活かしながら、さまざまな福祉活動・ボランティア活動を展開しています。

このコーナーでは、県民のみなさまに社会福祉協議会の活動を広く知っていただき、「社協」をより身近に感じてほしいという思いとともに、広域的な社会福祉協議会（ボランティアセンター）ネットワークの充実や情報連携の強化をはかり、県内社会福祉協議会の新たな連携・協働を推進します。

初回となる今回は、甲府市社会福祉協議会「甲府市ボランティアセンター」をご紹介します。

新
New

社協ボランティアセンター 情報コーナー

Information about a volunteer

甲府市ボランティアセンター

甲府市ボランティアセンターは、「ともに生き、ともに支え合うまちづくり」を目指し、ボランティアの活動拠点としてボランティアのみなさんのお手伝いをしています。

★ボランティア相談

活動をしたい方とボランティアを必要とする方や団体、施設との架け橋として、地域で社会的活動を進める方たちの相談に応じています。

★ボランティア活動への援助・協力

ボランティアの養成、研修や場所、情報の提供、ボランティア団体の援助などを行っています。

★ボランティア活動機材・車いすの貸し出し・リサイクル品の受付

ボランティア活動機材（車いす・アイマスク・高齢者疑似体験セットなど）や、ボランティアビュローの貸し出しを



しています。

また、預託物品（古切手や牛乳パック、エコキャップや不要になった入れ歯）の受け払いも行っていきます。

★広報活動

ボランティア活動を広くみなさんに知っていただくため、甲府市社会福祉協議会の広報紙「まごころ」や「ボランティアだより」を発行したり、「ボランティア掲示板」を設置したりしています。

今年度も「傾聴ボランティア養成講座」「心の健康ボランティア養成講座」「ちょぼらキッズ養成講座」の開催や「チャレンジフェスタ」「ボランティア博2016inこうふ」など、皆さんが楽しめるイベントを開催する予定です。詳しくは、甲府市ボランティアセンターまでお問い合わせください。



甲府市ボランティアセンター

業務時間 月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時30分

住 所 甲府市相生2丁目17-1
甲府市役所南庁舎1号館3階

T E L 055-223-1061

ホームページ <http://www.kofu-syakyo.or.jp/>

五感を通じて人生が体感できる体験型イベント

THE SIX SENSE 開催

「2025年問題」という言葉を耳にしたことがあると思います。

「団塊の世代」と呼ばれる人たちが、2025年に75歳以上(後期高齢者)になることで起こると予想される様々な問題のことです。

この年、日本は人口の4分の1が後期高齢者、また、人口の3分の1が高齢者という「超高齢社会」となります。

要介護や認知症、一人暮らしの高齢者が増加する一方、現在も不足している介護の職員がさらに少なくなり、老老介護や介護難民、孤独死などの問題の深刻化が懸念されています。

介護は、「まだ先の話」「大変そうな仕事」とわれがちですが、「必ず直面する近い将来」と、自分ごととして捉える必要があります。

福祉から離れた環境の方へ、福祉の魅力を知ってもらうために、今年、人の「五感」を通じて人生が体感できる参加型イベント、医療福祉系リアル人生ゲーム「The Six Sense」として、遊び・体験を中心としたエンターテインメント性の高いコンテンツ盛りだくさんで開催します。

日時 平成28年7月31日(日) 10:00~16:00

会場 山梨県立図書館(甲府駅北口)

内容 図書館のホールや各会議室を使った
体験型イベント



福祉の就職総合フェア in やまなし夏

を開催します!

日時 8月12日(金) 13:00~16:00 (受付12:00~15:30)

会場 アピオ甲府 (中巨摩郡昭和町西条3600)

参加費無料

入退場自由

県内で唯一の福祉・介護・保育専門の就職相談会です。福祉の職場へ就労を希望する方や福祉の仕事に関心のある方など、どなたでも参加いただけます。求職者は事前の登録や申し込みは必要ありません。

求職者にとっては、具体的な福祉の仕事の内容や雇用条件、働く環境など、様々な疑問に答えてもらえるチャンスです。

また、福祉関係の資格取得方法や、福祉全般に関する相談に応じるコーナーなど、相談コーナーも充実しています。福祉人材センター登録コーナーでは、求職登録や福祉の仕事が体験できる「職場体験」の申し込みも受け付けています。

*合同面接(求人事業所)は、福祉人材センターインターネット求人システム「福祉のお仕事」に事業所登録している施設等で、事前の参加申し込みにより決定された事業所となります。

アクセス

★車でお越しの方は…

中央自動車道甲府昭和ICから5分

★無料専用シャトルバス…

<JR甲府駅南口発>12:00と13:00発

<アピオ甲府発>15:00と16:00発

お問い合わせ

福祉人材センター ☎055-254-8654

参加事業所は、本会ホームページ

<http://www.y-fukushi.or.jp> に7月中旬頃より随時掲載予定です。

Goods

福祉用具紹介

あると便利なグッズたち

在宅介護用ベッド

なご む

和夢

さい

彩(NX-1W)

■ 価格 384,000円(非課税)

「在宅介護」と「腰痛予防」を主眼に開発されたベッド。高さが25～67.5センチまで変えられるため、ベッドからの立ち上がりにも最適な高さに調節できるほか、介助の際の腰への負担軽減にもつながります。また、業界初のヘッドレスト機能を採用。頭部だけを30°傾けることで、顎を少し引き、前かがみの姿勢をつくることで誤嚥のリスクの軽減が可能です。手元スイッチにはロック機能がついているので、小さなお子様や認知症の方などがベッドを操作すると思われる場合に活用できます。



Check Point

起き上がり・立ち上がりのどちらも不安な方、ほとんど寝たきりに近い方に。頭、足、高さの調節ができる3モーターベッドです。手元スイッチのあたま・あし連動ボタンを使えば、背上げ角度と足上げ角度を同時に調整できます。



ヘッドレスト機能未使用「背上げ角度30°」

上昇時の最高床高は、67.5センチ。ベッド上での着替えやおむつ交換など、立ち姿勢での腰を曲げる介助作業を軽減しました。



ヘッドレスト機能使用時「背上げ機能30°」

業界初のヘッドレスト機能を採用。頭部だけを30°傾けることで、顎を少し引き、前かがみの姿勢をつくることで誤嚥のリスクの軽減が可能です。

■優遇措置の内容

介護保険の福祉用具貸与対象品です。要介護2～5の認定を受けている方は、レンタル料の1割※でレンタルできます。

※平成27年4月の介護保険法の改正により、平成27年8月1日から一定以上の所得のある場合、自己負担が現行の1割から2割の利用者負担となりました。詳しくは、市町村にご確認下さい。



地域密着型・小規模就職相談会を開催します

地域を限定して仕事を探したい、自宅に近い所で、空いている時間を活かして仕事をしたい、あるいは、福祉の仕事に関心はあるけれど、まだ具体的な就職活動はしていないという方々に、求人事業所の人事担当者と直接情報交換していただく場を設けます。ぜひ、この機会にご参加ください。参加費、事前申し込みは不要です。

- 日時** 峡北・韮崎エリア(この管内の求人) …7月25日(月)13:30~15:30
 峡南・南アルプスエリア(この管内の求人) …9月20日(火)13:30~15:30
- 会場** 山梨県福祉プラザ4階会議室(甲府市北新1-2-12)
 ※その他のエリアを対象とした相談会も順次実施します。
 ※参加事業所は各開催日1週間前より山梨県社会福祉協議会ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>に掲載予定です。
- 問い合わせ** 福祉人材センター ☎055-254-8654

福祉のおしごと マッチングカフェ

採用予定のある事業所と、お仕事を探しているあなたをつなぐ、個別面接・相談会を行います!
 求人事業所の担当者が、日頃から疑問に思っている事や、知りたいことなど、あなたのためだけにお答えします。コーヒーを飲みながらゆっくり「福祉のおしごと」のなをしませんか?

- 毎週水曜日、14時から16時まで。場所は、山梨県福祉プラザ4階の福祉人材センターです。
- 7月開催** 6日(水)地域密着型特別養護老人ホーム ぶどう畑
 13日(水)愛の家グループホーム甲府後屋
 20日(水)しらね訪問介護ステーション
 27日(水)特別養護老人ホーム「らくえん」
 - ※平成29年3月まで、毎週開催予定です。参加事業所は、本会ホームページをご覧ください。
 - 問い合わせ** 福祉人材センター ☎055-254-8654

広報誌「やまなしの福祉」をパソコンやタブレットで閲覧

広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版の閲覧ができるほか、電子ブックでもご覧になれます。タブレット・スマートフォンでの電子ブックのご利用の場合は、下記のQRコードでアクセスしてアプリ(ActiBook無料)をダウンロードしてください。指定のID(毎号変更)を入力すると閲覧できます。

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>

7月号は以下の通りです。

7月号のID
yfukushi330

Android用



iOS用



※パスワードは必要ありません

善意をありがとう

福祉巡回車輛の寄贈

(公社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会山梨県協会(依田賢延会長)様より福祉巡回車輛を大月市社会福祉協議会へ寄贈いただきました。

福祉巡回車輛の寄贈は平成10年から県内の市町村社会福祉協議会へ寄贈いただいております。今回で9台目となります。ありがとうございました。



貸し出し図書紹介

『認知症カフェハンドブック』

- 編著・監訳** 武地 一
- 協力** 京都認知症カフェ連絡会
NPO法人オレンジコムズ
- 発行者** 田島 英二
- 発行所** 株式会社クリエイツかもがわ
〒601-8382 京都市南区吉祥院石原上川原町21
Tel.075-661-5741 Fax.075-693-6605
ホームページ <http://www.create-k.co.jp>



今や誰が認知症になってもおかしくない時代です。認知症になったからと家に引きこもったり、家族の認知症のことで一人悩んだりするのではなく、気軽にふらっと立ち寄って、認知症のことを話し合ってみたい。そんな思いをかなえる場所、それが認知症カフェです。
 イギリスのアルツハイマーカフェ、メモリーカフェに学び、日本で開設するための具体的な方法がわかりやすく紹介されています。

このほかにも介護・看護・福祉についての本(約300冊)やビデオ・DVD(約200本)を貸し出しております。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。
 <<☎055-254-8680>>

幼稚園 福祉施設等でも活躍!
 ウイルスによる食中毒の対策に!
 柿渋パワー製剤
アルタンノロエース
 2012.9 特許取得
 食品や調理器具をはじめ、施設内の人が手をふれる場所全ての衛生管理に

アルタン 検索

現場の声をカタチに...いつもアルタンから。
アルタン株式会社
 東京都大田区東糀谷 3-11-10 TEL 03-3743-5705

広島大学との共同研究で開発されたエタノール製剤・食品添加物です。